



たかずやの里通信

令和8年度 - 第2号 -

…発行日…
令和8年9月1日
…発行人…

児童養護施設 たかずやの里
伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607
ホームページ
QRコード⇒



第27回たかずやふれあいまつり

今年度の「ふれあいまつり」は10月11日（日）に開催されます。

今年のテーマは「あつまれ！笑顔咲かそう 楽しい場所です」。一緒に笑顔を咲かせましょう！！

詳細については次回、お知らせをいたします。

たかずやの畑

たかずやの里では、今年もユニットごとで畑を作りました。5月中旬から、ユニットごとで畝（うね）作りや苗植えを子どもと職員で行いました。毎日の水やりや草とりを行い、7月上旬から、各ユニットの畑で採れた野菜（きゅうりやトマト）がユニットの食卓に上るようになりました。子ども達は、待ちに待った自分たちが育てて採った野菜を食べることができて、はしゃいでいます。



バラ祭りミニコンサート

6月20日、伸和コントロールズ株式会社様によるバラ祭りコンサートが信州高遠美術館ホールで開催されました。

この前日、たかずやの里にバラ祭りコンサートの出演者4名においでいただき、子ども達のためにミニコンサートを開催していただきました。

コンサートでは、楽器の音の出る仕組みや「水面の静けさと荒波を旋律で表現するとこんな違いがありますよ。」とピアノで表現してみたり、クラリネットを分解しながら演奏をされ、驚きながら楽しませていただきました。

2歳の子どもも瞳を輝かせるなど、全員本物の音色にくぎづけで、演奏後は演奏者の周りを離れず、嬉しそうに握手を求めています。職員も間近で聞く迫力の生演奏に感激していました。演奏家のお一人の「小さい年齢のうちに本物の音を聴く機会が大切」という言葉に、多くの職員が納得していました。



アフターケア～退園生への対応～

たかずやの里では昨年からの退所後の子ども達が安心して自立した生活を送れるよう、「自立支援担当職員」を配置するようになりました。担当職員は、日々子ども達と関わりながら、施設内での自立に向けた関わりをしています。進学や就職などの将来を一緒に考え、利用できる支援制度を説明しながら、進路の選択を支援しています。退所後も、生活や仕事の状況に応じた支援をしています。今年3月に退所したMくん（18歳）の自宅に毎月訪問し、月々の支出と一緒に確認し、お金のやりくりについて確認をしています。また、料理をはじめとして家事についても、日常生活を無理なく続けられるようアドバイスをしています。



「七夕の願い事」

例年、七夕には子どもたちが思い思いの願い事を短冊に書き、笹に結びます。

最近では短冊に願い事を書くこともなく、冷めていた私の心を動かし、目頭を熱くさせる短冊がありました。

「はやく おうちに かえりたい」「おかあさんの びょうきが なおりますように」

子どもたちは、自分の力ではどうすることもできない事情の中で、たかずやの里で暮らしています。日々暮る、母への想いや家族との生活を願う気持ちが、その小さな短冊に込められていました。

その願いを、子どもたちの身近にいる私たち大人はどのように日々の関わりにつなげていけばよいのか。決まった答えなどありませんが、少なくとも、願い事がかなう日までの日々を安心して過ごせる場に思っています。

以前、児童養護施設で育った方から聞いた言葉が印象に残っています。

「子どもを安心させるのは職員の笑顔。笑顔で接してほしい。」

子どもたちは、大人が思う以上に、身近な大人の表情を見つめ、声を聞いています。

毎日、笑顔でいられないかもしれませんが、それでも、時々一緒に笑い、「おはよう」「おかえり」と声を掛け合えば、その何気ない一言が子どもたちの心をそっと温め、安心して過ごせる毎日につながっていくのではないのでしょうか。

短冊に込められた幼い子どもたちの願い事を見つめながら、そんなことを思いました。

施設長 菅 雄峰



ほのぼのエピソード

ある日のこと

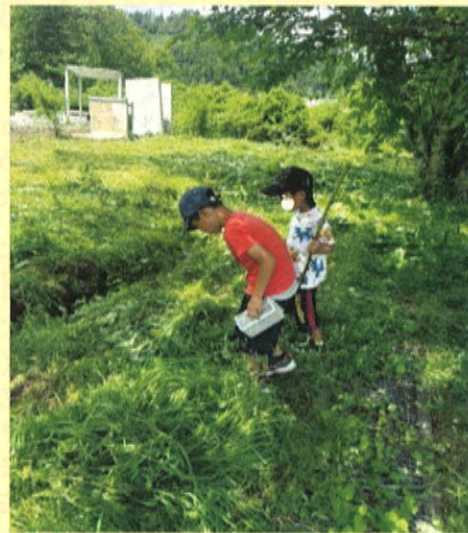
学校のことを話していると



たかずやの里 環境整備

6月6日(土)、晴れつつも涼しい天気の中、たかずやの里の環境整備を行いました。小学生から高校生までが協力してたかずやの里周辺の草むしりをして整備を行いました。子どもたちからは「草むしりは大変だった。」「お喋りしながら楽しくできた。」という感想があり、職員からは「子どもたちがしっかり整備に向き合ってくれたため、スムーズに行えた。」という感想がありました。また、幼児棟の子ども達は環境整備後、富県の旧跡地「ふれあいの森」へ行き、虫探しなどを楽しみました。

(虫取りの様子) →



ボランティア紹介~手芸~

ボランティアの方に来ていただき、子どもたちが裁縫を楽しみました。今回は、アニメのキャラクターをなぞって「並縫い」をしました。子どもたちは最後まで集中して楽しんでおり、未完成のものは次回、手芸ボランティアの方が来て下さる時に続きをする予定となっています。子供達からは「楽しかった。」「玉留めが難しい。」という感想がありました。



ユニットでの食生活

マーガレットユニットでは、チーズハンバーグや唐揚げなどの揚げ物系が人気のメニューになっています。これらが食卓に上ると子どもたちは喜んで、ご飯がすすみ、3杯もおかわりする子もいます。また、食事を作る上で、バランスを考えて野菜をできるだけ取り入れたり、魚の日を決めるなど、多くの種類や様々な調理をしています。

苦手なものを最低一口は食べられるように切り方や味付けなどを工夫しています。



施設紹介動画をご覧ください。

<https://www.takazuya.or.jp/movie.html>

QRコード⇒



理事長交代のお知らせ

6月25日付で社会福祉法人たかずや福祉会の理事長が交代し、竹松武登新理事長が就任いたしました。

伊藤隆前理事長には7年にわたり法人運営に尽力され、施設運営にご指導をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

新体制のもとでも、「あたたかさやすらぎ 心のふるさと」という理念を大切にしながら、より一層信頼される施設運営を目指してまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。